

なめたネジを外す

2019.06.07

トミー・マック

1. 要 点

ネジの頭形状とドライバーの呼び番号が合わないドライバーを使ったり、力を入れ具合を間違った場合、ビス頭がつぶれて（なめるともいう）しまいます。また古くなって錆びたネジ頭の場合もドライバーの先が入らず、ネジが外せないことがあります。

こんな時の対処の仕方です。

2. 方法と工具

(1) 潰れたネジ頭のネジの外し方

ネジ頭が飛び出ているか埋まっているか、ネジ頭周囲に工具（ラジオペンチやロックングプライヤー）を回せるや空間があるか、留めてあるものが強固かなど、状況により色々な方法があります。

(a) 摩擦力を増やす

- 輪ゴムをかませる

潰れたネジ頭トドライバーの間に、幅広の輪ゴムを挟んで回す。

- ネジ用すべり止め液を使う。 →



(b) ネジ頭を掴んで回す（トルクを増す）



ラジオペンチやロックングプライヤーなど挟む系の工具を使い、ネジ頭の外側をしっかり掴み、力強くトルクを増して回す方法です。

← 専用のペンチもあります。

(c) 専用工具を使う

ネジ頭に小さなネジ穴を開け、ネジビットを使って外す方法です。 →



(d) トリルの刃で孔を開ける

φ2.5mmのドリルの刃で孔を開け、φ3mmドリルの刃で逆回しすると、ネジが外れる場合があります。

なめたネジを外す

手荒い方法として、

(e) 金ノコや金やすりでマイナス溝を掘る

ネジ頭が飛び出ており周囲に空間があれば、強引に溝を切る方法があります。

(f) ネジ頭を叩いて緩める

留めてあるものが金属など強固であれば、軸が柄の中をお尻まで突き抜けている「貫通ドライバー」を使い、ネジ頭にこのドライバーを垂直に立て、ドライバーのお尻をまっすぐに叩いてやると、衝撃でネジが緩む時があります。

このほかにも色々な方法があります。

(2) ネジ頭を潰さないネジ回し

ネジ回し作業のポイントは、

- ネジの頭形状にあったドライバーの呼び番号（例えばNo1）を合わせる。

一般的に、

+ドライバーの呼び番号	ネジの呼び径
#00	#0用より小さい
#0	カメラ・メガネ用
#1	2～2.6mm
#2	3～4.5mm
#3	6mm以上

- ネジに対して垂直に押し当てる。力配分は押し6に対し回し4とか、押し8に対し回し2と言われ、意外と押しの力が必要です。

このポイントを外すと、ネジ頭が潰れます。

終わり